

福祉にいがた

Fukushi Niigata

4月号

2016

第764号



村山 陽「この季節の花の香りをどうぞ！」
（一水会委員・上越市在住）

巻頭特集

CONTENTS

地域の要請に応える新潟県社協新たな取り組み
・日常生活自立支援事業 全市町村社協方式に（2面）
・上越の人材発掘へ福祉人材センター長岡支所開設（3面）
・主な事業と予算案（4・5面）

- ずくむ2016 Vol.11 声なき苦しみに気づけるか
- 研修効果アップへ100台のタブレット端末活用
- 新連載「社団法人の公益活動」その1
- フォーラムでシニアの「自分らしく心豊かな生き方」探る

福祉サービスが多様化・複雑化する中で、新たな課題が顕在化しています。こうした現状を打開するため、新潟県社会福祉協議会は、地域社会のニーズに応える事業を平成28年度も様々な展開します。その中から「日常生活自立支援事業」の新たな取り組みと、福祉人材センターが開設する長岡支所を紹介します。

日常生活自立支援事業の全市町村社協方式移行

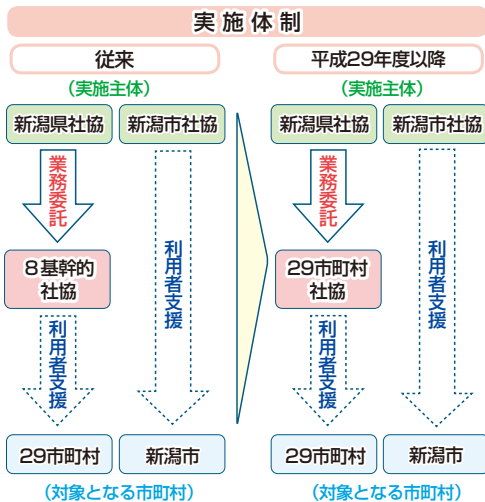
利用格差解消し利便性アップ

日常生活自立支援事業は、認知症高齢者や知的障害・精神障害のある方など、判断能力が十分ではない

方々に対して、福祉サービスを利用する際の援助や日常的な金銭管理の援助等を行い、住み慣れた地域で安心して暮らせるようにお手伝いする事業として平成11年10月にスタートしました。

県内では現在、

新潟県社会福祉協議会（県社協）と新潟市社会福祉協議会が実施主体として実施しており、県社協管内については、基幹的な役割を担う8市の社会福祉協議会（基幹的社協）が中心となり、各市町村社



会福祉協議会や関係機関と連携しながら事業を実施しています。

平成28年1月末現在の実利用者数は県内全体で計988人。認知症高齢者428人(43%)、知的障害者289人(29%)、精神障害者271人(28%)と認知症高齢者が4割を占めていますが、障害者の地域移行に向けた施策等により、年々、

知的障害者・精神障害者の割合が大きくなっています。判断能力が十分でない方々が、住み慣れた地域で安心して日々の生活を送るためには、地域の中で利用者を支える取組みが一層求められています。

迅速で継続した支援実施しやすく

全市町村社協実施方式に移行した場合、これまで基幹的社協所在市とそれ以外の市町村で生じていた3・3倍の利用格差の解消や、潜在的な需要に対して1割程度にとどまっている利用促進も可能です。そして、身近な社協が関わることで迅速かつ継続した支援が実施しやすくなるなど、様々な効果が期待できます。

28年度は、関係機関連絡会議や市町村社協移行促進

県社協では、県内においてあまねく適正にこの事業が実施され、地域包括ケアシステムの構築において各市町村における個々の実情に沿った適切な対応をしていくため、現行の基幹的社協実施方式から全市町村社協実施方式へ移行することにしております。当面は、一定の準備・移行期間（平成28年度から3カ年）を設定し、対応可能な市町村社協から順次進めていきます。

会議、基幹的社協専門員・市町村社協事業担当者研修会などあらゆる機会を活用して内容を説明、意向を確認するなど、全市町村社協実施方式への移行に向けた準備を行っていきます。

そして、移行を円滑に進めるため、29・30年度は基幹的社協と市町村社協に移行のための財政的支援を実施し、準備の整った社協から順次移行することを予定しています。

新潟県福祉人材センター長岡支所オープン

上中越地域の人材発掘の拠点に

4月1日、長岡市水道町3の長岡市社会福祉センター2階に、待望の新潟県福祉人材センター長岡支所がオープンしました。福祉

人材の不足が叫ばれる中、上中越地域の福祉人材発掘の拠点として期待されま

す。人材センター（新潟市中央区上所2、新潟県社会福祉協議会内）は、社会福祉法に基づいて各都道府県に設置され、無料職業紹介所として平成4年10月に国の許

可を受け、福祉施設などからの求人を受け付けたり求職のあっせんや相談業務を行ってきました。

県内には、高齢、障害、児童分野など多種多様な福祉施設がありますが、介護人材の不足は深刻な状況にあります。

新潟労働局によると、平成26年度の介護職の有効求人数は46,528人なのに対し有効求職者数はその半分程度の23,506人に留まっており、有効求人

倍率は1・98となっており、求人倍率は4・9とさらに高くなっています。

そして団塊の世代が75歳以上になる2025（平成37）年には介護人材不足は、37万人以上に達するとみられています（厚生労働省推計）。

一方、人材センターは、新潟市内の1カ所にあるだけ。職員もセンター長（県社協福祉人材課長兼務）以下僅か5人で、全国で最も少ないのが現状でした。この体制で広い新潟県をカバーするのは難しく、求人

求職とも新潟市が7割近くを占め、就職者数などの実績も、中々上がらないのが現実でした。

平成26年度の実績は、新規求人2,923人、新規求職564人で採用された

のは31人に留まっており、全国順位はいずれも下位に甘んじています。

ハローワークと違い、福祉関係に特化しているため、より詳しく適切な紹介業務が実施可能なのに、その長所が生かし切れていませんでした。人材センター

の地域的偏在と職員不足がその一因と考えられています。

こうした状況を改善するため、県社協は、人材センターの体制強化を県に強く要望してきました。県もその必要性を認識、長岡支所開設が実現しました。

相談は予約制、1人当たり30分

長岡市社会福祉センターに開設した長岡支所は、長岡市を中心とする中越地域

と上越地域の福祉人材発掘を担う拠点となります。職員も2人増の7人になり、福祉施設への就労促進に向けて求人・求職活動を強めます。祝日・年末年始を除く月曜から木曜日の、午前10時から午後3時まで業務を行い、相談時間は1人当たり、30分以内となります。

相談員は新潟の人材センターから出張します。すべて予約制となりますので、相談日前日（月曜日は前週金曜日）の午後3時までに、人材センター1025（281）5523に電話で予約して下さい。



平成28年度の主な事業計画

1 新たなニーズに応える

- (1) 活動指針の推進
県社協の基本理念や基本方針実現のため策定した「活動指針」を推進します。
 - ▷ 地域における権利擁護事業の推進
 - ▷ 生活困窮者の自立支援と地域づくりの推進
 - ▷ 災害福祉広域支援ネットワークの推進
 - ▷ 福祉職員研修受講支援事業の推進
- (2) 地域福祉における権利擁護の推進
 - ▷ 日常生活自立支援事業＝2ページに詳報
 - ▷ 成年後見制度普及促進事業
成年後見制度普及のため、申立て支援を強化し、法人後見を中心とした第三者後見人の受け皿拡充に向けた取り組みなどを強化します。
- (3) 地域で支え合う仕組みの構築
 - ▷ 新たな社会課題の抽出及び検討事業《新規》
 - ▷ 新たな社会課題に対応する共生の仕組みづくり構築事業《新規》
- (4) ボランティア活動の普及・啓発
 - ▷ ボランティア推進フォーラム開催事業
- (5) 福祉人材の確保等
 - ▷ 福祉人材センター長岡支所開設《新規》
＝3ページに詳報
 - ▷ 介護事業所等における人材確保調査事業《新規》
 - ▷ 福祉職員研修受講支援事業
- (6) 社会福祉協議会役員の視察研修
 - ▷ 社会福祉協議会会長視察研修
- (7) 介護知識・技術の普及・促進
 - ▷ 認知症ケア・アカデミー講座《新規》
- (8) 避難者の生活再建への支援
 - ▷ 福島県避難者相談支援事業
福島県復興支援員が避難者宅を訪れ相談に応じ支援します。

2 社協活動啓発・広報活動強化

- (1) 福祉に関する県民の理解や関心の向上
 - ▷ 県民福祉大会開催事業
 - ▷ 福祉・介護・健康フェア開催事業
- (2) 情報発信・広報活動の充実
 - ▷ 福祉団体とマスコミとの懇談会開催事業
 - ▷ 広報研修会の開催事業

3 他団体との協力・連携促進

- (1) 福祉関係団体との連携・協働を基盤とした政策提言、予算要望活動の実施
- (2) 大規模災害に備えた福祉広域支援ネットワークの構築
 - ▷ 新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会の運営
- (3) 新潟県社会福祉法人経営者協議会との連携事業
生活困窮者支援等に関する社会福祉法人の地域公益活動を協働で検討します。

4 県社協組織の総合力発揮に向けて

- ▷ 県社協職員研修の充実

5 事業評価等による取組

- (1) 新潟県高齢者大学の実践講座の充実
 - ▷ まちかどふれ愛英会話コース《新規》
 - ▷ 認知症予防能活性・筋トレコース《新規》
 - ▷ 介護技術習得コース《新規》
- (2) 福祉の店パレットの売上促進
- (3) 社会福祉従事者研修事業における自主研修の拡充
 - ▷ 制度改革対応セミナー《新規》
 - ▷ 法人監事研修《新規》
- (4) 旧社会福祉会館の管理運営
旧社会福祉会館を取り壊し土地処分します。

6 自主財源の確保

- (1) 広く県民からの寄付を募るためのシステム運営
 - ▷ 寄付のマッチング事業「ファンドレイジング福祉にいがた」の運営
- (2) 地域福祉活動を応援する企業・団体等の拡大と自主財源の確保
 - ▷ 賛助会員の拡大
- (3) 広告収入の拡充
福祉にいがたやホームページ、県社協封筒などに積極的に広告を掲載します。
- (4) 新潟ユニゾンプラザの管理運営
 - ▷ 賃貸収入増収に向けた取り組み

平成28年度当初予算 資金収支予算内訳表 (単位：千円)

会計単位／事業区分／拠点区分 等	収支等区分	H28当初予算 (a)	H27当初予算 (b)	増 減 (c)
1 一般会計	総収入	1,690,822	2,147,258	△456,436
	総支出	1,643,520	2,114,397	△470,877
	当期末支払資金残高	47,302	32,861	14,441
(1) 社会福祉事業 合計	総収入	586,888	461,205	125,683
	総支出	556,330	446,172	110,158
	当期末支払資金残高	30,558	15,033	15,525
①法人運営事業 (理事会・評議員会など)	総収入	159,418	66,878	92,540
	総支出	158,942	65,984	92,958
	当期末支払資金残高	476	894	△418
②連絡調整事業 (要望活動、福祉団体懇談会など)	総収入	7,532	7,814	△282
	総支出	7,532	7,814	△282
	当期末支払資金残高	0	0	0
③企画・広報事業 (福祉・介護・健康フェア、各種調査など)	総収入	9,311	11,879	△2,568
	総支出	9,311	11,879	△2,568
	当期末支払資金残高	0	0	0
④地域福祉活動推進事業 (青年後見制度普及促進事業、市町村社協支援など)	総収入	56,241	47,397	8,844
	総支出	56,241	47,397	8,844
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑤高齢者福祉活動推進事業 (明るい長寿社会づくり推進事業など)	総収入	97,494	98,350	△856
	総支出	97,494	98,350	△856
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑥障害者福祉活動推進事業 (福祉の店パレット新潟店)	総収入	12,448	11,531	917
	総支出	12,448	11,531	917
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑦福祉サービス利用支援事業 (日常生活自立支援事業など)	総収入	75,432	74,198	1,234
	総支出	75,432	74,198	1,234
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑧福祉従事者確保・就労促進事業 (福祉人材センター事業、福利厚生センター事業など)	総収入	66,446	60,528	5,918
	総支出	66,446	60,528	5,918
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑨共同募金配分金事業 (福祉にいがた発行事業、県民福祉大会など)	総収入	13,325	14,365	△1,040
	総支出	13,325	14,365	△1,040
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑩助成事業 (福祉施設への助成)	総収入	12,151	8,231	3,920
	総支出	12,151	8,231	3,920
	当期末支払資金残高	0	0	0
⑪基金管理運営事業 (県民たすけあい基金など)	総収入	77,090	60,034	17,056
	総支出	47,008	45,895	1,113
	当期末支払資金残高	30,082	14,139	15,943
(2) 公益事業 合計	総収入	892,912	1,570,205	△677,293
	総支出	873,907	1,550,433	△676,526
	当期末支払資金残高	19,005	19,772	△767
①福祉従事者養成・資質向上事業 (社会福祉研修センター事業)	総収入	28,148	26,787	1,361
	総支出	28,148	25,646	2,502
	当期末支払資金残高	0	1,141	△1,141
②介護支援専門員養成・資質向上事業 (ケアマネ実務研修受講試験事業)	総収入	44,900	46,217	△1,317
	総支出	25,895	27,586	△1,691
	当期末支払資金残高	19,005	18,631	374
③福祉従事者退職共済事業	総収入	802,536	1,452,086	△649,550
	総支出	802,536	1,452,086	△649,550
	当期末支払資金残高	0	0	0
④貸付事業 (介護福祉士修学資金貸付事業)	総収入	17,328	45,115	△27,787
	総支出	17,328	45,115	△27,787
	当期末支払資金残高	0	0	0
(3) 収益事業 合計	総収入	211,022	115,848	95,174
	総支出	213,283	117,792	95,491
	当期末支払資金残高	△2,261	△1,944	△317
①新潟ユニゾンプラザ管理運営事業	総収入	211,022	115,848	95,174
	総支出	213,283	117,792	95,491
	当期末支払資金残高	△2,261	△1,944	△317

※総収入額に前期末支払資金残高を含めている。

平成28年度の助成事業募集

県内の民間福祉を支援するために、平成28年度共同募金の助成事業(29年度事業)の募集をいたします。概要は下記のとおりです。申請書は当会にご連絡いただくか、当会ホームページからダウンロードしてください。

提出締め切り

5月20日(金)

詳しい内容等はホームページでご確認ください。申請書の提出先は市町村共同募金委員会(各社協内)になります。(2の助成事業は県共募へ提出)

問い合わせ先

〒950-0994

新潟市中央区上所2-2-2

新潟ユニゾンプラザ3階

社会福祉法人

新潟県共同募金会

TEL

025-281-5532

FAX

025-281-5533

ホームページ

[http://www.h7.dion.](http://www.h7.dion.ne.jp/~ni-kyobo)

ne.jp/~ni-kyobo

1 社会福祉施設整備費助成 社会福祉施設に対し、施設利用者やサービスを受ける人の生活や処遇の向上を図るための施設整備費を助成する。	
助成対象事業	高齢者・障がい者・児童等支援を必要とする人を対象とした法定施設で、施設利用者の処遇向上のための機器整備(備品・車両)、改修、増改築等
助成対象	県内の民間社会福祉施設・法定福祉施設を運営しているNPO法人
助成額	事業費の75%以内とし、限度額200万円

2 県広域社会福祉団体助成 県域(政令市を区域とした別組織も含む)で福祉増進のために活動する団体を支援する。	
助成対象事業	県域を単位とした福祉団体が実施する、民間の優位性を活かした社会福祉事業で、共同募金助成金を主体として行う事業を助成対象とする。
助成対象	全県的な組織(政令市を区域とした別組織も含む)で社会福祉を目的とする団体及び更生保護事業法第2条の更生保護事業を実施する団体
助成額	事業費の80%(対象外経費を除く)を上限

3 地域活動支援センター等及び障害者小規模作業所支援助成 地域活動支援センター等での就労支援及び法定外の障がい者小規模作業所を支援するため施設整備費等を助成する。	
助成対象事業	①社会参加や自立支援のための研修・交流会等並びに自主製品の材料購入等の事業費を対象とする ②建物の修繕 ③作業用備品の整備 ④送迎用車両又は授産物品運搬用車両
助成対象	地域活動支援センター内での就労支援施設、障がい者小規模施設で、未法人又はNPO法人が運営するものに限る。
助成額	①の事業については、限度額15万円 ②の事業については、限度額50万円 ③の事業については、限度額30万円 ④の事業については、限度額100万円 ※②③④の総事業費の1割は自己負担とする

4 ボランティア団体等活動支援事業助成 地域課題や生活課題に対応するため、新たに設立する団体への支援や、既存のボランティア団体やNPO法人が新たな分野への活動として取組む新規事業並びに既存事業の拡大を支援する。	
助成対象事業	①新たな分野への支援 ②事業拡大への支援 ③新たに設立する活動団体への支援
助成対象	ボランティア団体、NPO法人
助成額	事業費の80%以内とし、限度額30万円

新潟県共同募金会
人事異動

常務理事・事務局長(新任)
藤沢 勇 〓 四月一日付

退任
西方 眞琴
(常務理事・事務局長)

声なき苦しみに
気づけるか

ず〜む
2016
Vol.11

「ディスレクシア」―知的な遅れはないが、読書が、の部分で特に困難を伴う「識字障害」。恥ずかしながら、昨今メディアで取り上げられてから初めてこの言葉を知りました。

安直とは思いつつネットで検索してみると、「長い文章や音読が苦手」「字の形を混同してしまう」「一字一句は読めても文としての意味が分からない」といった特徴のほか、「似たような響きの音を聞き誤る」「内容理解が困難」「連

続で複数の記憶をすることができない」等々の症状が人により見られるとのこと。明確な証明はされていないようなのですが、脳の神経系における何らかの機能障害に起因するもので、視覚・聴覚的な器官の異常はありません。なので、一見すると「何も変わらない」ように見えるのです。

私見ですが、この障害の苦しみは、症状そのものはもちろんのこと、そこに付随する心理的な葛藤にあるように思います。識字が上

手できないことを周囲に知られないように振る舞うことによる心への負荷、周囲が難なくできていることが自分にはできないということに対する自覚と焦燥感・不安、自分自身という存在の否定：じりじり、じわじわと続く長く深い戦いにひとり身を投じ、追い詰められていく人は、きっと少なくないでしょう。

私たちは、その人そのものの、障害そのものだけに目を奪われがちですが、その人を取り巻く「環境」に目

を向け、内在する力が発揮できるように整える（障害者差別解消法の言葉を借りれば、「合理的配慮」にあたるでしょうか）という視点はとても重要です。現在に至るまでに何があったのか、何に苦しんでいるのか、それを和らげるためにはどのような工夫や知恵が必要なのか：「生きづらさ」に寄り添う支援のあり方について、改めて考えさせられました。

(実央)

5 地域活動支援事業助成

地域における生活課題に対応する活動を支援するため、活動の立ち上げ時期を含め、地域で各種福祉サービスに取り組む事業に助成を行う。

助成対象事業	①日常的に支援を必要とする方々への生活支援事業 ②高齢者、病気の後遺症が原因で就労が困難な方、引きこもりやニートなど社会参加を必要とする方々への就労や交流支援事業 ③地域の移動支援事業 ④その他新たな地域課題に対応する事業
助成対象	社会福祉法人・NPO法人・自治会等の地域団体、社会福祉活動を行う民間の非営利団体・グループ
助成額	①送迎・移動・就労支援活動に必要な車両整備費 車両本体及び付属品の取得費の90%以内とし、限度額100万円 なお、車両をリースする場合は、年間リース料の2/3以内とし、限度額30万円 ②「地域の移動支援事業」の運行に要する燃料費に対しては、限度額20万円 ③備品整備費 備品整備費の90%以内とし、限度額30万円

チャリティ茶会寄付金
新潟県茶道連盟が寄贈



新潟県茶道連盟から新潟日報社を通じ、チャリティ茶会の寄付金71万5086円を頂きました。ありがとうございました。

赤い羽根運動70周年

赤い羽根共同募金運動が始まってから70回目を迎えます。

これを記念し、70周年ロゴマークが登場しました。今月からこのコーナーのマークも記念仕様になりました。これから様々な媒体に登場します。

寄付・寄贈
ありがとうございました
(敬称略)

平成28年2月25日
第22回「鉄道の日」北陸信越地方実行委員会
103,936円

平成28年3月17日
匿名
精米61.7kg

理解度の即時把握可能に

研修効果アップへ1000台のタブレット端末活用

新潟県社会福祉協議会福祉人材課は、IT会社から無償提供された1000台のタブレット端末の各種研修での活用を開始した。持ち運び可能なWiFi装置も導入したことで、どこでもインターネットが利用できるようになり、しかも100台の端末が同時に使えることから、活用幅は大きく研修効果のアップも見込めそうだ。

まず、研修効果の促進が図れること。講義の事前、事後にテストが行え、しかもリアルタイムに集計できるため、



携帯式のWi-Fi装置

新潟県社会福祉協議会 人事異動

(4月1日付)

事務局長	関谷 政友 (新採用)
事務局次長	桑原 光矢 (新採用)
総務管理課	
課長	風間 直行 (新採用)
課長代理	遠藤 由香 (地域福祉課 主査) =昇任
嘱託	吉沢 真美 (福祉人材課 嘱託)
企画広報課	
参事	親松 茂 (新採用)
主事	清川 祐介 (福祉人材課 主事)
地域福祉課	
課長代理	佐藤 正弥 (総務管理課 課長代理)
主査	山井 幸恵 (福祉人材課 主任) =昇任
嘱託	穂苅 祐子 (3月1日採用)
嘱託	河内 奈津美 (3月7日採用)
非常勤嘱託	大掛 幸夫 (地域福祉課 臨時)
生活支援課	
嘱託	白川 淳 (新採用)
嘱託	山口 千秋 (総務管理課 嘱託)
福祉人材課	
課長代理	福祉人材センター担当
	新保 由己子 (福祉人材課 課長代理 社会福祉研修センター担当)
主査	河野 弘輝 (地域福祉課 主任) =昇任
主事	山本 実央 (企画広報課 主事)
嘱託	小林 希実 (3月16日採用)
高齢者総合相談センター	
相談員	水島 好夫 (委嘱)
◆退職 (3月31日付)	
	土屋 良治 (事務局長)
	宮田 純一 (事務局次長兼総務管理課長)
	梅沢 利明 (企画広報課参事)
	上松 敏之 (福祉人材課参事)
	出羽 秀輝 (地域福祉課嘱託)
	今井 綾香 (地域福祉課嘱託)
	東條 健司 (生活支援課嘱託)
	近 泰歳 (生活支援課嘱託)
	滝沢 穂瑞 (地域福祉課臨時)
	岡本 紗織 (福祉人材課臨時)
◆退任 (3月31日付)	
	河原三喜男 (高齢者総合相談センター相談員)

受講者の知識・理解度や技術レベルがすぐ把握出来る。それによって、グループ分けがその場で出来るため、習熟度に応じた研修が行いやすくなる。また、セッション毎の効果や気づきを細かく把握でき、プログラムを改善する必要があるかどうかもすぐ検討できるようになるという。

二つ目はデータの蓄積。ア

ンケート結果はその場で集計できるし、年度比較などお手のものだ。

三つ目は、情報の提供。ネットに接続されたことで、講義の進捗状況によって新たに必要になった資料もタブレットで直ちに提供できるメリットも生まれた。

2月16日に行われた福祉マ
ンパワー研修会。ここで初め

てアンケート調査に活用、その後も試行を重ねて使いやすさを探っている。
上手に活用すれば、大きな効果が期待できるタブレット端末。同課で活用するほか、新潟ユニゾンプラザ利用者にはWiFi装置の貸し出しが可能だ。

タブレット端末とWiFi装置は、同課の研修システム構築に携わった縁で(株)コムプラス・ビズが無償で提供、(株)日清医療食品が協力した。



アンケートの回答を打ち込む受講者

福祉の店 味わい散歩

スクラム

社会福祉法人のぞみの家福祉会

(新発田市御幸町2-15-3)

◇9時～16時

◇土・日・祝日休み

◇TEL 0254 (22) 1-2615



癖になる辛さが自慢の愛情キムチ

キムチ作りには、根気が欠かせない。「勇氣！ やる気！ 元氣！」がモットーのスクラムは、これに愛情いっぱい笑顔をプラス、手間暇惜しまず美味しさに挑戦している。

白菜は一枚一枚葉を広げ、大根はサイコロ状に、ネギは2、3センチに切りそろえ、

丁寧に塩をすり込む。一晩寝かせた後で塩を出し、いよいよ秘伝のキムチペーストに漬け込む。

ナシ、シヨウガ、ニンニクを細かく切り、アミの塩辛を加えてミキサーでペーシトにする。ここにイワシのエキス、白ごま、昆布等々、美味しさの素を惜し



げもなく加え、粉、粒の異なる3様の唐辛子で調えれば、秘伝のペーシトの出来上がり。

スクラムの目指すキムチは、浅漬けの辛口。一晩漬けて出荷する。葱キムチ(100g) 180円、はくさい(150g) 250円、だいこん(同) 230円。キムチペースト「辛次郎」は100g瓶300円で販売している。乳酸発酵食品は、そのまま食べても、食材にしても、いい味を出す。ひよんなことで生まれたトマトキムチもなかなかのイッピン。ただし夏限定なので、しばらくお待ちを。

注文を受けて作ることが多いが、国道7号沿いにある道の駅加治川の農畜産物販売所「やまざくら」には常に取りそろえてある。

福祉NEWS

2016年2月11日～3月10日

■認知症事故 家族責任なし ～最高裁初判断～

認知症の男性が徘徊中に電車にはねられ死亡した事故をめぐる、家族が鉄道会社への賠償責任を負うかどうか争われた訴訟の1審で、最高裁第3小法廷は3月1日、「家族だからといって監督義務があるわけではなく、介護の実態などを総合的に考慮し賠償責任の有無を判断すべきだ」との初判断を示し、今回は家族に責任はないとしJR東海の請求を棄却した。

□介護の実情に配慮

責任の基準示さず難しい線引き

最高裁の判断は、家族のかかわり方や介護の状況を「総合的に考慮

したもの。在宅介護の実情に配慮した形だが、状況によっては責任を負う可能性もある。義務を負うかどうかの線引きについて、項目を示ただけで具体的な基準はなく、認知症の家族にとっては不安が残る内容といえる。

■自立支援へ資金貸与

児童養護施設の退所者対象

3月2日開かれた新潟県議会2月定例会で、県は児童養護施設を退所する子どもに家賃などを貸与する制度を2016年度に始めることを明らかにした。新生活への支援を受けられない子どもの自立を助けるのが狙い。

■介護の担い手「未定58%」

仕事を持ち介護経験がない人のうち、家族の介護が必要になったときに誰が主な担い手になるのか「分からない」と思っている人が58.8%に上がったことが3月5日までに日本能率協会の調査で分かった。同協会は「介護に直面しなければ実感が湧きにくい。いざというときに困らぬよう日ごろから家族と話し合い、職場の支援制度を知るなど事前の準備が重要だ」としている。調査は2015年12月～2016年1月、20代～60代の働く男女千人に実施。介護経験のない人791人、経験のある人は2097人だった。

社福法人の公益活動

その1

◆法人情報◆

本部事務局 所在地
 柏崎市大字群屋194番地1
 電話 0257-24-4100
 F A X 0257-24-4102
<http://park21.wakwak.com/~kashiwa194/>

積極的にホームレス緊急受け入れ

社会福祉法人柏崎刈羽福祉事業協会 救護施設かしわ荘

救護施設かしわ荘は、昭和34年の開設以来、生活保護法に基づく措置施設として、障害や経済的な理由によって一人での生活が困難な方を対象に、長年に渡り生活保護者の生活を支援してきました。

しかし近年、生活保護に関わる状況も多様化し、入所者支援のみでなく今の生活を継続していくための一時的な保護という目的で市町村から措置されるケースが急激に増えてきました。いわゆる一時入所です。現在、かしわ荘ではこうした一時入所のニーズに



緊急受け入れする際の提供部屋
 ～会議室にベッドとテーブルを用意～

えるため、その受け入れに関するルールを定め、積極的に取り組んでいるところです。この一時入所の中には緊急を要するケースがあります。その中のひとつと

して、ホームレスの方の受け入れがあります。かしわ荘では福祉事務所長の依頼によって、この2年間で2件のホームレスを受け入れました。図表Ⅱ。

ホームレスの受け入れにあたっては、施設が事前に

柏崎市にて保護。当夜の宿泊場所がなく、受け入れる。その後、柏崎市の調査の結果、他市で保護を受給していることが判明。柏崎市での保護は取り消された。ご本人の所持金もなく、利用費用を免除した。

柏崎市にて保護。当夜の宿泊場所がなく、受け入れる。翌日、市内の民間アパートに入居し、同日、生活保護開始となるが、ご本人の所持金もなく利用費用を免除した。

事例1	Aさん	一泊	柏崎市にて保護。当夜の宿泊場所がなく、受け入れる。その後、柏崎市の調査の結果、他市で保護を受給していることが判明。柏崎市での保護は取り消された。ご本人の所持金もなく、利用費用を免除した。
事例2	Bさん	一泊	柏崎市にて保護。当夜の宿泊場所がなく、受け入れる。翌日、市内の民間アパートに入居し、同日、生活保護開始となるが、ご本人の所持金もなく利用費用を免除した。

得る情報は全くなく、特に感染症等の医療情報が不明のまま受け入れを判断することになります。そして、ご本人においては着の身着のまま所持金もないことがほとんどです。

これまでのホームレスの受け入れ期間は、最長で2日間でしたが、この間は保護が未定であり、所持金もなく、突然の利用受け入れにより通常の居住環境の提供ができないことから利用料を免除することにしました。

しかし、セーフティネットとしての役割を果たすべく、この受け入れにあたって、会議室を個室Ⅱ写真Ⅱ

として用意し、食事や入浴の提供のほか、必要に応じて衣類・日用品の提供も行う、状態観察、所在確認などを実施し、非常時への準備も整え緊急時に対応しました。

これらの取り組みは、時として制度の狭間の支援あるいは生活困窮者の支援であるため、当法人では、このように緊急的にホームレス等を受け入れることは社会福祉法人だからこそ出来る『地域公益活動』として位置付け、職員ひとりひとりがその使命を全うするため、積極的、かつ柔軟に取り組んでいるところです。

ただし、このような事例や依頼は、まだまだ少なく、地域公益活動と言えるレベルのものはないと思われるかもしれませんが、今後、益々多様化・複雑化する福祉ニーズに 대응するため、セーフティネットを担う救護施設として、法人として、地域に貢献してまいります。

(生活指導員・山本浩宣主任)

包括連携 協定締結記念しフォーラム開催

新潟県社協
医療福祉大

「自分らしく心豊かに生きるために」

シニア世代に地域活動呼び掛け

新潟県社会福祉協議会
と新潟医療福祉大学の包
括連携協定締結を記念し
たフォーラム「自分らし
く心豊かに生きるために
シニア世代のアクティ
ビティに向けて」が、
2月15日、新潟ユニゾン
プラザ多目的ホール（新
潟市中央区上所2）で開
かれました。会場には約
400人の県民が訪れ、
シニア世代と学生の織り
なすトークに耳を傾けま
した。

医療福祉大学ダンス部の
華麗なパフォーマンスで幕
を開け、同大学の山本正治
学長が「シニア世代への期
待」と題して基調講演しま
した。山本学長は、自らの
体験を基に『シニアとは何
か』に触れ、「若い世代な
どの異なる考え方に寛容な
『自己肯定感を持った生き
方』をして欲しい」と語り

ました。
アクティビティ・トーク
には、シニア世代を代表し
て新潟県高齢者大学OBの
古市重男さんと新潟市立松
浜中学校地域教育コーディネ
ーターの岡昌子さんが、
医療福祉大学からは社会福
祉学科4年・丸山由希さん
と理学療法学科3年・竹見
祐大さんが登壇、それぞれ
の活動や懸けた思いを報告
しました。

域住民とともに活動した丸山さんは、「一人ひとり
が自らの住む地域に愛着
を持ち、地域のために汗
を流すこと、世代の違う
者同士が協力することの
大切さを学んだ」と言い
ます。そして「地域のた
めに汗を流す活動に、ほ
んの少しだけ自らの背中
を押してみませんか？」
と会場に呼び掛けました。
学生と共に地域活動をし
ている岡さん、大学のサー
クル活動で様々な形で地域
と関わる竹見さんも、一緒
に汗を流す楽しさを語りま
した。

そして、助言者の石上
和男・新潟県高齢者大学
学長（新潟医療福祉大学
教授）は、「今世代を超え
た力の結集が求められて
いる。シニアと若者のコ
ラボで地域に活力を与え
る必要がある、旗振り役
にはシニア世代がならな
ければならない」と、シ
ニア世代の発憤に期待感
を表明しました。



多くの県民を集めて行われたフォーラム

上越市で「傾聴ボラン
ティアだんぼ」会員として
活動している古市さんは、
「人のためと思って始めた
が、本当は自分自身のため
ではないのか、と感じてき
ている」と心の変化を語り
ました。

高齢化が進む佐渡市相
川の稲鯨集落を訪問、地

ゴールデンウィーク・夏休みのご予定はお決まりですか？

国内へ・海外へ。みんなでわいわい楽しい旅行をご案内致します。

★温泉？ホテル？ハワイ？ヨーロッパ？国内・海外どちらもお任せください★

ちょっと待ってください。
JTBの商品は旅行ではありません

贈り物にギフト券（商品券）や体験型カタログ
ギフトを贈ってみてはいかがでしょうか

JTBでは【旅行券・ギフト券・カタログ
ギフト商品】を各種取り揃えております

〜〜皆様の旅のこと贈り物のこと、何でもお気軽にご相談ください〜〜

(株) JTB 関東 法人営業新潟支店 / 新潟市中央区東万代町 1-30 新潟第一生命ビル 3階
電話 .025-255-5101 FAX.025-248-7687



感動のそばに、いつも。

福祉の現場

高松 美和さん
(新発田市・猿橋児童クラブ主任指導員)

No.10



春4月、新しい生活が始まる季節。新入学児童には、ワクワク感に不安がチョッピリ混ざる複雑な季節でもある。とりわけ、保護者が仕事で留守になる子供には心細さもひとしおだ。
そんな子供たちを放課後や学校休業日に預かり、見守るのが児童クラブ。ここには、猿橋小児童が通って来る。取材したときは、4年生までの60人。4月から増える。対象を6年生まで拡大した上、うれしいことに「新1年生がここ数年で最も多くなる」からだという。
発達障害やADHDなど特別支援学級の子供を受け入れている。暴れることもある。そんな時「特別な対応をする」。ただし「ほかの子供たちにきちんと説明した上」で特別扱いする。「1年生では理解できないが、次第に分かるようになり、4年

子供たちから元気を吸収、周りに活力を与え続ける「母」。

生にもなると軽度の子の面倒を見てくれます」。
福島から自主避難の子もいる。父親は現地で頑張る二重生活の子も。「悩みを聞いたりして、心のケアに気を配る」。
「実の母には勝てませんが、常に母でありたい」と思っている。「子供たちが、素直に自己主張できる空間を作ってやりたい」という。そこには、人生経験が見え隠れする。
東京で英会話講師をしていた青春時代、「発達障害の子供と出会い児童心理学を学んだ」とことがある。結婚して郷里に戻ったものの、夫の転勤で見知らぬ土地に暮らしたとき「頼れる人がいない育児の大変さ」を実感、旧紫雲寺町で子育て支援に携わる契機となった。
児童クラブの指導員になった後も「核家族の親の大変さも子供の寂しさも分かる」経験を最大限に生かしている。
そして数年前、「大病を患い、人生観が変わった」。「娘のため生きなきゃ」と思い、働く姿を見せるため仕事も休まなかった。今「子供たちといると笑顔になれる」幸せを実感している。

福祉の店パレット

社会福祉法人佐渡福祉会
まつはらの家

(佐渡市)

【施設紹介】

手工芸ではトキ関連の商品を作っています。他に、不用になったパソコンの分解作業や薪作りを行っています。



【商品説明】(金額はすべて税別)

☆裂き織り

バリエーションに富んだ色彩でカバンやペンケース、ポーチなど作っています。コースターは贈り物としても喜ばれています。



カバン 3500円〜=写真奥
ペンケース 1500円=写真手前左
コースター 300円=写真手前右

☆積み木

小さな子供が触っても痛くないよう一つ一つ丁寧に磨き上げています。絵にトキやカワイイ系、ほのぼの系の焼き印が押し当てあり、人気があります。



1000円

問い合わせ

福祉の店パレット新潟店
県社協 地域福祉課

☎025-281-5513
☎025-281-5521

「ご意見や感想お寄せください」
「福祉にいがた」について、ご意見、ご感想、知りたいテーマなどございましたら左記までお寄せください。
◆TEL 0950-85575 新潟市中央区上所2-1-2
◆新潟ユニゾンプラザ3階 新潟県社会福祉協議会企画広報課
◆ファクス 025-281-5528
◆EMAIL oasis@fukushininigata.or.jp

この機関誌は、
赤い羽根共同募金の
助成を受け発行しています。



発行所/社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ
☎025-281-5520
発行人/土屋 良治
定 価/5円(会員の購読料は会費に含む)

福祉にいがた
平成28年4月1日発行(毎月1日発行)
昭和27年9月16日 第三種郵便物認可
印刷/島津印刷㈱